

**平成29年度進捗評価シート**  
**高岡市歴史的風致維持向上計画（平成23年6月8日認定）**  
（最終変更平成30年3月29日）

**□進捗評価シート(様式1)**

|                                  |       |    |
|----------------------------------|-------|----|
| ①組織体制(様式1-1)                     |       |    |
| 1 計画の実施と推進体制                     | ..... | 1  |
| ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)     |       |    |
| 1 景観計画の活用                        | ..... | 2  |
| 2 都市計画法の活用                       | ..... | 3  |
| 3 屋外広告物に関する規制                    | ..... | 4  |
| ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3) |       |    |
| 1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業                | ..... | 5  |
| 2 前田利長墓所整備事業                     | ..... | 6  |
| 3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業          | ..... | 7  |
| 6 市内町家等再生事業                      | ..... | 8  |
| 7 金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業               | ..... | 9  |
| 9 歴史的資産を活用した町家再生事業               | ..... | 10 |
| 10 金屋町定住体験施設整備事業                 | ..... | 11 |
| 11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業        | ..... | 12 |
| 12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業        | ..... | 13 |
| 18 県道岡・笹川線道路整備事業                 | ..... | 14 |
| 19 勝興寺寺内町道路修景整備事業                | ..... | 15 |
| 20 高岡御車山保存修理事業                   | ..... | 16 |
| 24 菅笠保全対策事業                      | ..... | 17 |
| 28 次世代型ものづくり人材育成事業               | ..... | 18 |
| 30 伝統工芸産業希少技術継承事業                | ..... | 19 |
| 31 次世代クリエイター工房開設支援事業             | ..... | 20 |
| 32 文化財等修理補助事業                    | ..... | 21 |
| 33 菅栽培調査事業                       | ..... | 22 |
| 34 ものづくり・デザイン科推進事業               | ..... | 23 |
| 35 前田家関連史跡調査事業                   | ..... | 24 |
| 36 町並み保存・都市景観形成補助事業              | ..... | 25 |
| 37 金屋町楽市開催事業                     | ..... | 26 |
| 38 獅子舞大競演会開催事業                   | ..... | 27 |
| 39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業            | ..... | 28 |
| 40 祭行事・イベント振興事業                  | ..... | 29 |
| 41 「高岡再発見」プログラム事業                | ..... | 30 |
| 42 新たな芸術・文化創造推進事業                | ..... | 31 |
| 43 日本遺産魅力発信推進事業                  | ..... | 32 |
| ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)         |       |    |
| 1 文化財の調査・研究の充実                   | ..... | 33 |
| 2 文化財の適切な保存管理                    | ..... | 34 |
| 3 郷土教育と人材育成の継続                   | ..... | 35 |
| ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)             |       |    |
| 1 効果・影響等に関する報道                   | ..... | 36 |
| ⑥その他(効果等)(様式1-6)                 |       |    |
| 1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進            | ..... | 37 |
| 2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり           | ..... | 38 |
| □法定協議会等におけるコメントシート(様式2)          | ..... | 39 |

| 評価軸①<br>組織体制  |   | 評価対象年度   | 平成29年度 |
|---|---|--|--------|
| 項目  |   | 現在の状況  |        |
| 1 計画の実施と推進体制  |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手  |        |
| 計画に記載している内容   | 高岡市歴史的風致維持向上計画の実施及び推進に係る連絡調整を行うため、法に基づき高岡市歴史まちづくり協議会を組織し協議する。また、歴史都市形成プロジェクトの推進及び計画に基づく施策・事業の進捗を図るための庁内組織として、副市長をトップとする「歴史まちづくり推進会議」を設置し協議する。その他、必要に応じて都市創造部次長をトップとし、関係部局の課長級職員で幹事会を開催する。 |  |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で   |   |  |        |
| 歴史まちづくりの推進や関連する取り組み状況の市民への周知方法、伝統工芸技術の保存継承対策等の各諸課題について検討した。<br>【定量的評価】<br>協議会1回開催、推進会議1回開催、幹事会2回開催      |   |  |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応  |   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない                |   |  |        |
| 状況を示す写真や資料等   |   |  |        |
| 第10回高岡市歴史まちづくり協議会<br> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第10回協議会(平成30年2月19日開催)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画の変更について</li> <li>・計画の進行管理・評価について</li> </ul> </li> <li>◎ 第13回推進会議(平成30年1月25日開催)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画事業の進捗状況について</li> <li>・計画の進行管理・評価について</li> <li>・計画の変更について</li> </ul> </li> <li>○ 第19回幹事会(平成29年11月28日開催)</li> <li>○ 第20回幹事会(平成30年1月17日開催)</li> </ul> |        |
| 第13回歴史まちづくり推進会議<br>  |   |  |        |

| 評価軸②-1<br>重点区域における良好な景観を形成する施策   |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| <b>1 景観計画の活用</b>   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 計画に記載している内容  | 重点区域のうち歴史的風致を形成している地区を景観形成重点地区に指定する。また、市全域に適用している景観形成基準について、色彩基準(マンセル値設定)を新設し、併せて景観法に基づく届出対象行為を拡大し、周辺環境との調和を図る。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で<br>平成29年度の景観法に基づく届出件数は23件である。  |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |   |   |        |
| <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">景観形成重点地区(旧北陸街道福岡)の修景事例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>修景前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>修景後</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">当該重点地区の景観づくりの基準に基づき、木塀の設置を、市の補助金を活用して実施した。</p> </div> |   |   |        |

評価軸②-2  
重点区域における良好な景観を形成する施策

|            |   |        |
|------------|---|--------|
|            | 評価対象年度  | 平成29年度 |
| 項目         | 現在の状況   |        |
| 2 都市計画法の活用 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |

計画に記載している内容  
 山町筋重要伝統的建造物群保存地区、金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、修景基準及び許可基準を運用し、修理や現状維持、地区内での調和のとれた修景を図る。  
 その他、風致地区に指定している5地区について、地区内の自然的景観を保全し、良好な市街地環境の維持を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

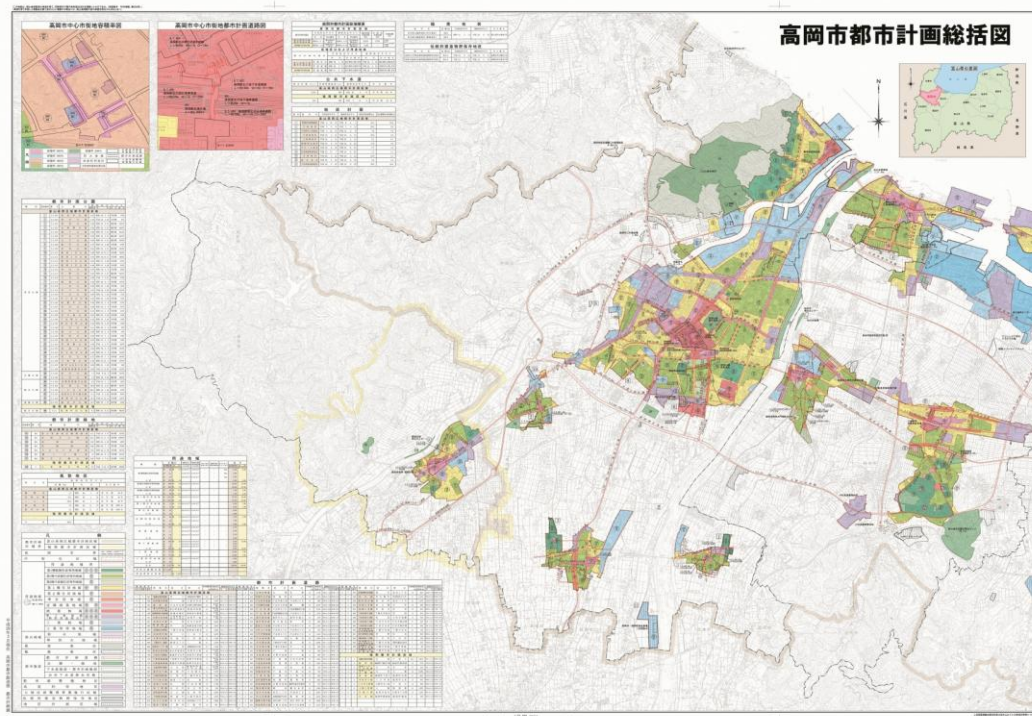
平成24年4月に、高岡鑄物発祥の地・金屋町を伝統的建造物群保存地区に都市計画決定した。  
 また、都市計画道路について、取り巻く社会情勢の変化に伴い、その必要性が変化していることから、事業未着手路線に関して計画の見直しを進めている。平成24年3月には、未着手都市計画道路のうち、17路線39区間を見直し候補とした「都市計画道路見直し計画」を策定し、5路線16区間について、都市計画の廃止・変更手続きを完了した。  
 平成28年度からは都市計画の基本方針である都市計画マスタープランの見直しに着手している。その中で、歴史・文化を活かした都市づくりを目指し、平成30年度中の策定へ向け作業を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

|                               |
|-------------------------------|
| 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)      |
| ■計画どおり進捗している<br>□計画どおり進捗していない |

状況を示す写真や資料等

都市計画総括図



H29.3.31時点データ

| 評価軸②-3<br>重点区域における良好な景観を形成する施策   |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目   |  | 現在の状況   |        |
| 3 屋外広告物に関する規制  |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 計画に記載している内容  | 富山県屋外広告物条例に抵触する違反屋外広告物の是正指導等、適正化の徹底を図るとともに、高岡市条例の制定について検討していく。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |  |   |        |
| 富山県屋外広告物条例の改正に伴い既存不適格となった屋外広告物の是正に対して、条例の趣旨説明や是正に向けた働きかけを行ったほか、違反広告物の是正を図っている。           |  |   |        |
| 是正実績<br>・H29<br>既存不適格 ⇒ 是正 6件<br>・全体<br>是正(除却含む) 29件 / 既存不適格 96件                         |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)                                       |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |  |   |        |
| 既存不適格の是正事例<br>(敷地内総量190.78㎡から29.97㎡に改善及び屋上広告の表示削除)                                       |  |   |        |
|        |  |                      |        |
| 是正前  |  | 是正後   |        |
| 既存不適格の是正事例<br>(高さ15mから10mへ改善)  |  |   |        |
|       |  |                     |        |
| 是正前  |  | 是正後   |        |

## 評価軸③-1

## 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|  |                                    | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|------------------------------------|---|--------|
| 項目   |                                    | 現在の状況   |        |
| 1 瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業  |                                    | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成24年度～平成32年度                      |   |        |
| 支援事業名  | 国宝重要文化財等保存整備費補助金                   |   |        |
| 計画に記載している内容  | 瑞龍寺禅堂等の柿葺屋根等に傷みがみられることから保存修理を実施する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |                                    |   |        |
| 平成29年度において以下の工事を実施した。<br>大庫裏、鐘楼：屋根工事完了、山門：素屋根組立、既存こけら板撤去、屋根工事<br>※現在山門を工事中。今後、総門・大茶堂・高廊下等を工事予定 |                                    |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)           |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない       |                                    |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |                                    |   |        |
| 【大庫裏、鐘楼】屋根葺き替え完了   |                                    |   |        |
|             |                                    |   |        |
| 【山門】屋根工事   |                                    |   |        |
|            |                                    |   |        |

| 評価軸③-2<br>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項  |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|---|--|---|--------|
| 項目  |  | 現在の状況   |        |
| <b>2 前田利長墓所整備事業</b>   |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間  | 平成25年度～  |   |        |
| 支援事業名   | 国宝重要文化財等保存整備費補助金                               |   |        |
| 計画に記載している内容   | 国指定史跡前田利長墓所について、保存管理計画及び整備基本計画に基づく復原修理事業を実施する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で   |  |   |        |
| 平成29年度 整備事業報告書の作成(平成30年3月刊行予定)、樹木整理を行った。<br>平成25年度からの整備事業を報告書として作成した。<br>樹木整理によって、御廟や内堀の顕在化を図ることが出来た。 |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応  |  | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない              |  |   |        |
| 状況を示す写真や資料等   |  |   |        |
| 樹木整理前   |  | 樹木整理後   |        |
|                     |  |                      |        |

| 評価軸③-3<br>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項   |                                   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|-----------------------------------|---|--------|
| 項目   |                                   | 現在の状況   |        |
| <b>3 勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業</b>   |                                   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成17年度～平成32年度                     |   |        |
| 支援事業名  | 国宝重要文化財等保存整備費補助金                  |   |        |
| 計画に記載している内容  | 勝興寺大広間及び式台ほか11棟(重要文化財)の保存修理を実施する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |                                   |   |        |
| 平成29年度は以下の工事を実施した。<br>本坊素屋根解体完了、書院及び奥書院:外構を除き完了、御内仏及び御霊屋:外構を除き完了<br>宝蔵:完了、式台門:完了<br>※現在は各種渡り廊下を工事中。経堂・鼓堂を解体調査中。今後は玄関・配膳室・諸堂・総門等を工事予定 |                                   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)          |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |                                   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |                                   |   |        |
| 【御内仏、書院及び奥書院】外構を除き完了   |                                   |   |        |
|   |                                   |   |        |
| 【式台門】素屋根解体完了、外構工事中   |                                   |   |        |
|    |                                   |   |        |

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

6 市内町家等再生事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成24年度～平成32年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 登録有形文化財をはじめとする市内の町家に経年劣化や損傷が見られることから、歴史的風致形成建造物に指定し、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物に損傷が見られたため、修理工事に対し、補助金を交付した。(実績1軒)  
所有者、及び地元の文化財保存・継承に対する意識向上が期待される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【平成29年度事例】 歴史的風致形成建造物「佐野家住宅」



修理前



修理後

| 評価軸③-5<br>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項   |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目   |  | 現在の状況   |        |
| 7 金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業   |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成28年度～平成30年度  |   |        |
| 支援事業名  | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)   |   |        |
| 計画に記載している内容  | 金屋町において鋳物工房を整備し、伝統的建造物群保存地区の景観を向上させるとともに、全国からの若手人材の受入、育成、定着を促進することにより地場産業の振興を図る。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |  |   |        |
| 平成28年度 整備計画の策定<br>平成29年度 建設用地取得、設計 ※設計は実施中   |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   |  | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |        |
| <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  | 少ない経費で運営が可能な施設とすべく、施設運営についての検討を徹底しているところであり、場合によっては、設計期間を延長することも想定している。                                 |        |
| 状況を示す写真や資料等  |  |   |        |
|        |  |                      |        |
| 千本格子の家並  |  | 建設予定地   |        |

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

9 歴史的資産を活用した町家再生事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成28年度～平成30年度

支援事業名 まちの未来創造モデル事業(富山県)

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区の山町筋において、既存の伝統的建造物を活用し、町民文化の情報発信や山町筋の賑わい創出を行う交流拠点を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年3月に竣工、4月にプレオープン(11月グランドオープン)して以降、山町筋の歴史を紹介する思い出地図づくりや和菓子ワークショップ、防災体験イベントなど、町民文化の情報発信などのソフト事業を展開している。平成29年11月時点で全区画の入居が確定したほか、他の大型イベント(クラフト市場街)での拠点利用やミニコンサート、パーティなどにも利用されるなど、知名度が高まっている。周辺の歩行者通行量の増加(H27:550人→H30:600人)を数値目標として掲げており、平成29年時点で648人と、現状としては目標を上回っている状況にある。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

施設単体の継続的な集客と賑わいづくりが必要なほか、山町筋全体への波及や他の施設・イベントとの連携が重要であり、運営団体ともに対応を協議し実行に移していきたい。

状況を示す写真や資料等

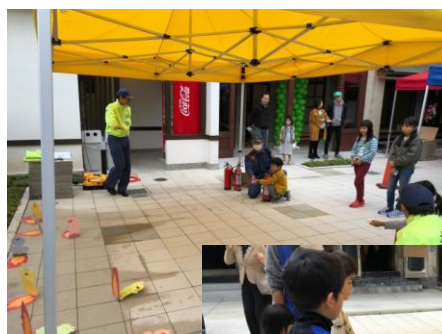
山町ヴァレー外観



グランドオープン(11月)の様子



和菓子ワークショップの様子



防災イベント  
(イザ!カエルキャラバン!)の様子



|  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| 10 金屋町定住体験施設整備事業   |   | <input checked="" type="checkbox"/> 実施済<br><input type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成28年度～平成29年度   |   |        |
| 支援事業名  | 定住者受入れモデル地域トータルサポート事業                                   |   |        |
| 計画に記載している内容  | 重要伝統的建造物群保存地区の金屋町において、既存の伝統的建造物等を再生・活用し、宿泊体験施設の整備を行うもの。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| 平成29年度事業内容<br>宿泊体験施設の整備を実施した。定例会議は引き続き月1回開催した。   |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)                                |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 平成29年度で本事業は終了。  |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |   |   |        |



外観



内装



定例会議の様子

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 11 山町筋重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|---------------------------|---|

|      |         |
|------|---------|
| 事業期間 | 平成13年度～ |
|------|---------|

|       |                  |
|-------|------------------|
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存整備費補助金 |
|-------|------------------|

|             |   |
|-------------|---|
| 計画に記載している内容 | 山町筋重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。 |
|-------------|---|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度事業内容  
 伝統的建造物の修理 土蔵5件  
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  |
|--|--|

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【旧谷道家住宅土蔵】修理前



【旧谷道家住宅土蔵】修理後

【修理事例】



【羽岡家住宅土蔵】修理前



【羽岡家住宅土蔵】修理後

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 12 金屋町重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|---------------------------|---|

|      |         |
|------|---------|
| 事業期間 | 平成25年度～ |
|------|---------|

|       |                  |
|-------|------------------|
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存整備費補助金 |
|-------|------------------|

|             |   |
|-------------|---|
| 計画に記載している内容 | 金屋町重要伝統的建造物群保存地区において、伝統的建造物の修理、非伝統的建造物の修景事業を実施する。 |
|-------------|---|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度事業内容  
 伝統的建造物の修理 主屋2件、塀2件、非伝統的建造物の修景1件  
 ※建造物の傷み具合や景観への貢献度を加味し、修理・修景事業案件を決定し、実施した。

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  |
|--|--|

状況を示す写真や資料等

【修理事例】



【般若家住宅主屋】修理前



【般若家住宅主屋】修理後

【修理事例】





【旧夏野家住宅主屋】修理前



【旧夏野家住宅主屋】修理後

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| 18 県道岡・笹川線道路整備事業   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成26年度～平成32年度                               |   |        |
| 支援事業名  | 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)                     |   |        |
| 計画に記載している内容  | 県道岡・笹川線の(都)中央線区間において、カラー舗装や側溝敷設替などの修景整備を行う。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| 今年度は、修景整備に係る測量及び詳細設計を実施した。<br>引き続き、整備内容や整備規模等を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、業務を進める。  |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)                    |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |   |   |        |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>福岡町の町並み</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>旧北陸道(西側から)</p> </div> </div> |   |   |        |

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|                   |   |
|-------------------|---|
| 19 勝興寺寺内町道路修景整備事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|-------------------|---|

|      |               |
|------|---------------|
| 事業期間 | 平成29年度～平成32年度 |
|------|---------------|

|       |                        |
|-------|------------------------|
| 支援事業名 | 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) |
|-------|------------------------|

|             |  |
|-------------|--|
| 計画に記載している内容 | 伏木地区ストリート構想に則し、旧参道を中心とした道路修景整備を勝興寺の改修に併せて行う。 |
|-------------|--|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は基本計画作成にあたり地元住民の意見を参考にするため、まち歩きやワークショップを開催した。  
 ・まち歩き・第1回ワークショップ(平成29年9月24日開催)  
 ・第2回ワークショップ(平成29年10月29日開催)

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



まち歩き



ワークショップ

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|                |   |
|----------------|---|
| 20 高岡御車山保存修理事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|----------------|---|

|      |         |
|------|---------|
| 事業期間 | 平成17年度～ |
|------|---------|

|       |                  |
|-------|------------------|
| 支援事業名 | 国宝重要文化財等保存整備費補助金 |
|-------|------------------|

|             |   |
|-------------|---|
| 計画に記載している内容 | 重要有形民俗文化財「高岡御車山」の山車に経年劣化や損傷がみられることから、順次修理を実施する。 |
|-------------|---|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度 守山町山車の車輪(4輪)、通町人形胴体の修繕を実施した。  
 ※車輪…構造部材の割れや傷みが深刻であり、奉曳の安全上修理が必要であったため実施した。  
 ※人形…足と胴体の木部の痛みが深刻であり、修理が必要であったため実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

|  |                          |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|--|--------------------------|

状況を示す写真や資料等

【守山町】車輪中間検査



【通町】人形胴体途中経過



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|             |  |   |        |
|-------------|--|---|--------|
|             |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
| 項目          |  | 現在の状況   |        |
| 24 菅笠保全対策事業 |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要無形民俗文化財である越中福岡の菅笠は、菅栽培や製作技術者が減少の一途をたどっていることから、製作技術の維持・存続に向けてスゲ保全の総合対策事業を実施するもの。  
菅笠づくりの後継者育成指導や研修、スゲ栽培の調査・勉強会、新商品の開発などを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

高岡市支援実績

| H28   | H29   |
|---|---|
| ・菅笠製作技術後継者育成事業（技術習得のための育成活動を実施している団体に支援）<br>・菅笠展示・実演（市内外のイベント会場や施設における周知普及団体への支援）<br>・菅笠保全市民活動団体との連携事業（休耕田でのスゲ栽培活動、販路拡大、体験指導実施団体への支援）<br>・スゲ草栽培推進事業（スゲ田の現況把握、スゲ栽培ボランティアの学校田活動支援）<br>・菅笠展覧会・コンテストの開催（事務協力等支援）<br>・ブランド化等事業（スゲ製品の商品開発、スゲ染色研究実施団体への支援）<br>・福岡庁舎1階ロビーへの菅笠展示コーナー設置 | ・菅笠製作技術後継者育成事業（技術習得のための育成活動を実施している団体に支援）<br>・菅笠展示・実演（市内外のイベント会場や施設における周知普及団体への支援）<br>・菅笠保全市民活動団体との連携事業（体験講座実施団体への支援）<br>・スゲ草栽培推進事業（スゲ田の現況把握、スゲ栽培ボランティアの学校田活動支援）<br>・菅笠展覧会・コンテストの開催（事務協力等支援）<br>・ブランド化等事業（新しい菅笠の提案等実施団体への支援） |

主要活動実績

| No. | 活動内容        | H28  |      | H29  |      | 実施団体             | 備考     |
|-----|-------------|------|------|------|------|------------------|--------|
|     |             | 回数   | 参加者数 | 回数   | 参加者数 |                  |        |
| 1   | 菅笠講座（笠骨）    | 各10回 | 9名   | 各10回 | 9名   | 越中福岡の菅笠製作技術保存会   | 2コースあり |
| 2   | 菅笠講座（笠縫）    | 各20回 | 34名  | 各20回 | 39名  | 越中福岡の菅笠製作技術保存会   | 2コースあり |
| 3   | 体験講座        | 3回   | 124名 | 2回   | 69名  | 越中福岡の菅笠製作技術保存会   |        |
| 4   | 菅笠展覧会・コンテスト | 1回   | 387名 | 1回   | 258名 | 菅笠展覧会・コンテスト実行委員会 |        |

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

|  |   |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない | (課題)<br>・高齢化による技術保持者の減少<br>(対応策)<br>・後継者育成講座の充実 |
|--|---|

状況を示す写真や資料等

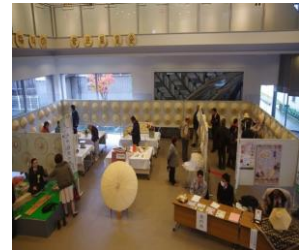
後継者育成（笠縫・笠骨講座分）



後継者育成育成（職人育成）



菅笠展覧会・コンテストの開催



菅笠展示・実演（市内外のイベント会場や施設において）



菅笠保全市民活動団体との連携事業（体験講座）



スゲ草栽培推進事



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|                    |   |
|--------------------|---|
| 28 次世代型ものづくり人材育成事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|--------------------|---|

|      |   |
|------|---|
| 事業期間 | 昭和43年度～(基礎・研究コース)、平成12年度～(造形コース)、平成26年度～(3D造形コース) |
|------|---|

|       |       |
|-------|-------|
| 支援事業名 | 市単独事業 |
|-------|-------|

|             |  |
|-------------|--|
| 計画に記載している内容 | 伝統工芸産業に関わる人材に対して、伝統的工芸技術から最先端の3D技術を活用した幅広い技術習得を目的としたスクール事業を実施する。<br>金工、漆工に関わる伝統工芸技術(彫金、鋳造、塗り、青貝、蒔絵など)及び3Dプリンターによる立体造形技術の習得を目指す。<br>伝統技術と先端技術の融合による新たな人材育成につなげることで、新商品・新技術の開発の活性化に結び付け、伝統工芸産業の高度化を図る。 |
|-------------|--|

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

昭和43年より実施しており、平成29年度末に50周年を迎える。高岡市の伝統工芸産業である銅器・漆器について、高岡市伝統工芸産業技術保持者、伝統工芸士などを講師に迎え、デザインの初歩知識と基礎技法の修得、工芸品制作に必要な材料、技術に関わる実践的内容を中心に産地の技術力向上、人材育成を目的として実施。

<内容>  
 (1)金工・漆工基礎研究コース(2年間) 技術概論、道具制作、基礎技法、加飾技術を中心に実習。週1回、年間約28回  
 (2)金工・漆工造形コース(1年間) 加飾技術に加えて、総合的な造形感覚を養う。月2回、年間約19回  
 (3)3D造形コース(1年間) 3Dプリンターを活用した立体造形とデータ作成法を学ぶ。月2回、年間約10回

<実績>  
 <平成29年度(第25期後期)>  
 金工基礎コース 7名 26回/年 漆工基礎コース 5名 26回/年  
 金工研究コース 8名 26回/年 漆工研究コース 5名 26回/年  
 金工造形コース 5名 11回/年 漆工造形コース 7名 16回/年  
 3D造形コース 5名 10回/年

<成果>  
 (1)修了生一延べ 1020名(昭和43年～平成28年度【29年3月末】)  
 (2)伝統工芸作家、クラフトマン、また産業界の中堅技術者として大いに活躍している。

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

|  |  |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  |
|--|--|

状況を示す写真や資料等

金工コース

彫金の実習  
(基礎コース)



彫金、象嵌の実習  
(研究コース)



精密鋳造の実習  
(造形コース)



漆工コース

塗りの実習  
(基礎コース)



螺鈿・蒔絵の実習  
(研究コース)



乾漆の実習  
(造形コース)



3D造形コース

3Dプリント技術の実習



評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|   |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|---|---|---|--------|
| 項目  |   | 現在の状況   |        |
| 30 伝統工芸産業希少技術継承事業   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間  | 平成24年度～   |   |        |
| 支援事業名   | 市単独事業   |   |        |
| 計画に記載している内容   | 技術継承が危ぶまれている高岡銅器、高岡漆器における希少な伝統的技術・技法を保持する育成者とその継承者に対して支援を行なう。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で   |   |   |        |
| 平成24年度から、旧「伝統的工芸品技術・技法継承者育成事業」の補助金額(2万5千円/月から5万円/月)と期間(1年間から2年間)を充実させ、「伝統工芸希少技術継承事業」として実施。<br>より希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すことで、工芸やものづくり産業の活性化を図る。<br><br>・<育成者> 藤田 正作 <継承者> 野村 毅史 【部門】 漆器 彫刻(平成28年度より継続)<br>・<育成者> 中村 喜久雄 <継承者> 上田 剛 【部門】 銅器 焼型 |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応  | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)                                      |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない  |   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等   |   |   |        |
| 【部門】 漆器 彫刻<br><br>   |   |   |        |
| 【部門】 銅器 焼型<br><br>   |   |   |        |

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|   |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|---|--|---|--------|
| 項目  |  | 現在の状況   |        |
| 31 次世代クリエイター工房開設支援事業  |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間  | 平成24年度～  |   |        |
| 支援事業名   | 市単独事業  |   |        |
| 計画に記載している内容   | 伝統産業技術者、デザイナーなど次世代を担うクリエイターに対する自立支援・活動支援のため、市内の空き家・空き店舗・空き工場等を活用して開設する工房(作業場)に対し改修費等を支援する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で   |  |   |        |
| 本市産業振興に資するクリエイティブ産業(創造産業)分野に該当する者への支援として、工芸家、工業デザイナーなどによる市内での新たな工房(作業場)の開設に伴う賃借料(月額上限5万円、最長2年)、取得費(上限120万円)、改修・改装費(上限100万円)、設備機器費(上限40万円)のそれぞれ2分の1以内について補助金を交付する。<br>●平成29年度支援実績：なし |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応  |  | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |        |
| <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない  |  | 平成29年度は相談・問い合わせはあったものの支援にまでは至らなかった。今後事業の利用を検討している事業者はいるため、今後も随時相談対応していくことと、引き続き制度の周知に努める。               |        |
| 状況を示す写真や資料等   |  |   |        |
| ●平成29年度支援実績：なし <input type="checkbox"/>   |  |   |        |

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

32 文化財等修理補助事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡地域文化財等修理協会に補助し、高岡の工芸技術の保存継承を図るもの。  
また、文化財修理技術の向上や修理に関する資料データの作製等を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・文化財等修理産業創出事業として販路開拓事業(県外へのPR、HP更新等)、人材育成事業(視察、研修会への参加)を実施。また、産・学・官が連携し漆木の育成・管理事業等を実施。  
・高岡御車山等の修理工程の記録や職人技の伝承資料を作成し、これらの記録、資料作成等を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

山車の修理の様子



視察・研修会の様子

↓千葉県香取市佐原での研修会の様子

↓東大寺、奈良国立博物館文化財保存修理所での視察研修の様子



評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|  |   |   |        |
|--|---|---|--------|
|  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|  |   | 項目  | 現在の状況  |
| 33 菅栽培調査事業   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成22年度～   |   |        |
| 支援事業名  | 市単独事業   |   |        |
| 計画に記載している内容  | 菅田の栽培に関する肥料対策、病虫害対策、乾燥技術等の試験的調査を実施し、菅田作付面積の増加につなげる。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会を実施し栽培技術の向上を図る。  |   |   |        |
| 平成29年度   |   |   |        |
| ・スゲ刈り試験: イグサ改良コンバイン、一般草刈機等でスゲ各60本(平成29年7月27日実施)  |   |   |        |
| ・試験結果: 刈りによるスゲの縦割れ発生数⇒イグサ改良コンバイン88本、一般草刈機27本(スゲ100本換算)                                   |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)                            |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |   |   |        |

状況を示す写真や資料等

稲刈り機を改良した機械での刈取り



草刈り機を改良した機械での刈取り



括束



評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|   |  |   |        |
|---|--|---|--------|
|   |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
| 項目  |  | 現在の状況   |        |
| <b>34 ものづくり・デザイン科推進事業</b>   |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間  | 平成18年度～  |   |        |
| 支援事業名   | 市単独事業  |   |        |
| 計画に記載している内容   | 本市の伝統工芸である漆器、銅器等を中心に地元の優れた産業について、体験を通じた学習を行う。市内小・中・特別支援学校の5年生、6年生、中学校1年生を対象に、年間35時間の授業を実施する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で   |  |   |        |
| 高岡市の伝統工芸や地域の産業について、見たり触れたり体験したりすることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てることにつながった。<br>平成29年度は、青貝塗りのブローチや彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作に取り組んだ。<br>【定量的評価】<br>「ものづくり・デザイン科」の学習を通して、郷土に誇りを持ったり、高岡のよさを再発見したりすることができたと思う児童生徒の割合<br>約92.9%(3,637人/3,914人) |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応  | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)   |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない  |  |   |        |

状況を示す写真や資料等

小学校の取り組み例


児童生徒の作品を、保護者、市民に広めている例

|        |         |          |
|--------|---------|----------|
| 学校名    | 小学校     |          |
| 学年     | 5年      | 6年       |
| タイトル   | 曲がる錫の小物 | 青貝塗りの置時計 |
| 写真(活動) |         |          |
| 写真(作品) |         |          |



中学校の取り組み例

|      |           |  |
|------|-----------|--|
| 学校名  | 中学校       |  |
| 学年   | 1年        |  |
| タイトル | 鑄造による錫の小物 |  |
| 写真   |           |  |

| 評価軸③-20<br>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| <b>35 前田家関連史跡調査事業</b>  |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成20年度～平成32年度   |   |        |
| 支援事業名  | 国宝重要文化財等保存整備費補助金  |   |        |
| 計画に記載している内容  | 平成20年度から着手し平成24年度で終了した高岡城跡詳細調査の成果を公開し、高岡城跡に対する関心と理解を高めるため高岡城跡シンポジウムを開催する。守山城跡の詳細調査を開始し、遺構確認調査、地中レーダ探査、測量調査、関連城郭調査を実施する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| 平成29年度: 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、地中レーダ探査、概要報告書の作成(平成30年3月刊行予定))                                   |   |   |        |
| 遺構確認調査によって殿様道部分の縄張図を作成し、遺構の広がりをおさえることができた。地中レーダ探査の総括を行う。                                 |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |   |   |        |
| <b>守山城跡詳細調査</b> (平成29年4月3日～平成30年3月30日)   |   |   |        |
| 遺構確認調査   |   | 地中レーダー探査  |        |
|        |   |                      |        |

| 評価軸③-21<br>歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項  |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目   |  | 現在の状況   |        |
| 36 町並み保存・都市景観形成補助事業  |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成21年度～  |   |        |
| 支援事業名  | 市単独事業  |   |        |
| 計画に記載している内容  | 景観形成重点地区等の区域内で景観づくり基準に適合し、景観形成に寄与する修景を行う者及び景観重要建造物又は景観重要樹木の保存又は管理を行う者に対して補助する。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |  |   |        |
| 景観形成重点地区等の区域内での修景事業に対する補助を行った。<br>平成27年度: 修景補助2件<br>平成28年度: 修景補助7件<br>平成29年度: 修景補助5件     |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)   |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |  |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |  |   |        |
| 景観協定地区(勝興寺寺内町通り)の修景事例  |  |   |        |
|        |  |                      |        |
| 修景前  |  | 修景後   |        |
| 当該協定地区の景観づくりの基準に沿って、住宅の開口部の格子について助成を行った。   |  |   |        |

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

|              |   |
|--------------|---|
| 37 金屋町楽市開催事業 | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |
|--------------|---|

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡鑄物発祥の地であり、伝統的な町並みが残る金屋町において、産学官が連携して、ストリートマーケットとイベントを組み合わせた工芸と生活と産業が同居するゾーンミュージアムとなる「金屋町楽市」を開催することにより、金屋町を拠点に、高岡市の中心市街地の賑わい創出を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

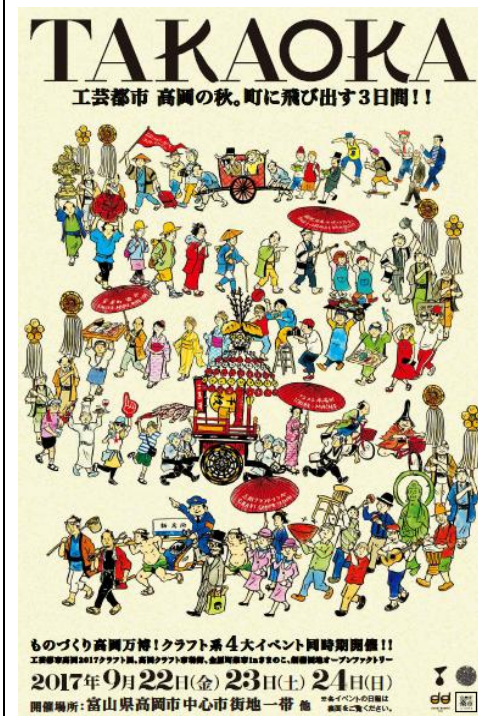
来場者に伝統的な町家や文化に触れる機会を提供することで、日本遺産にも登録された「高岡の町人文化」の魅力を広く発信した。昨年度に引き続き、工芸都市高岡クラフトコンペティション、高岡クラフト市場街などと連携を図り、同時期に開催することで、「ものづくりのまち高岡」の歴史的風致に深く関わる工芸の魅力に広く親しむ機会を提供した。

- ・開催日 平成29年9月23日～24日
- ・来場者数 24,800人
- ・内容 町家や石畳通りを利用した工芸品の展示・販売  
街並みのライトアップ  
鑄物、ガラス等のワークショップ  
きもの通りファッションショー 他

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



クラフトイベント合同のポスター(楽市の開催期間は23日・24日のみ)



石畳通り往來の様子



町家内の作品展示風景

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

38 獅子舞大競演会開催事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容

平成23年度で36回となる獅子舞大競演会は、中心商店街全体で取り組んできた歴史あるイベントである。子どもから高齢者まで幅広い年齢層が長時間に亘って楽しめるイベントとして、市民の支持も高く、市外からも多くの方々が中心商店街を訪れており、春の一大イベントとして開催している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致の重要な要素であり、地域ごとに行われる伝統行事の獅子舞を、高岡の中心市街地で競演し、多くの人に見てもらえる機会をつくることで継承につながった。高岡市だけでなく県内の特色のある獅子を招聘し開催した。

平成29年度は5団体の獅子舞団体を市内外から招き、以下の日程で獅子舞大競演会を開催した。

(開催日)平成29年5月3日

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



末広町会場



@パーク会場



ウイングウイング会場

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

39 土蔵造りのある山町筋イベント助成事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 毎年

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 土蔵造りの伝統的建造物が集積する山町筋で、街並みの紹介、観光産業の創出等を目的として各種イベントを開催している。  
 ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(8月下旬)  
 ②山町筋の天神様祭(1月下旬)  
 ③山町筋のひなまつり(3月中旬)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重要伝統的建造物群保存地区における土蔵造り建物を活用した各種イベントが行われ、来場者に高岡開町以来の伝統文化に触れる機会を提供するとともに、住民同士や来場者との交流による歴史的町並み保存への理解が深められた。

- 平成29年度は以下のイベントを行った。
- ①高岡山町筋土蔵造りフェスタ(平成29年8月26日、27日開催)  
土蔵造りの建物での講演会とプロジェクションマッピング、クラシックカーギャラリーなど
  - ②山町筋の天神様祭(平成30年1月20日、21日開催)  
山町筋の商家に伝わる天神様を土蔵造りの建物で展示、講演会など
  - ③山町筋のひなまつり(平成30年3月10日、11日開催)  
山町筋の商家に伝わるお雛様を土蔵造りの建物で展示、講演会など

|  |                          |
|--|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない |                          |

状況を示す写真や資料等




土蔵造りフェスタ



天神様祭



ひなまつり

|  |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|--|---|--------|
| 項目   |  | 現在の状況   |        |
| 40 祭行事・イベント振興事業  |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 毎年   |   |        |
| 支援事業名  | 市単独事業  |   |        |
| 計画に記載している内容  | 高岡御車山祭、伏木曳山祭、二上射水神社築山行事、八丁道おもしろ市、御印祭へ補助する。   |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |  |   |        |
| 平成29年度は以下の祭行事・イベントへの補助を行った。<br>高岡御車山祭(平成29年5月1日開催)<br>伏木曳山祭(平成29年5月15日開催)<br>二上射水神社築山行事(平成29年4月23日開催)<br>八丁道おもしろ市(平成29年5月21日、10月15日開催)<br>御印祭(平成29年6月19日、20日開催)<br>高岡の歴史的風致の重要な要素となる祭礼等を支援することにより、それらの継承や担い手の育成につながった。 |  |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)   |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |  |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |  |   |        |
| 高岡御車山祭<br>   | 伏木曳山祭(けんか山)<br> |   |        |
| 二上射水神社築山行事<br>  | 八丁道おもしろ市<br>   |   |        |

評価軸③-26 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|                   |        |   |
|-------------------|--------|---|
| 項目                | 評価対象年度 | 平成29年度  |
|                   |        | 現在の状況   |
| 41 「高岡再発見」プログラム事業 |        | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 高岡市内の小学校、特別支援学校に在籍している1～4年生の児童が、家族といっしょにスタンプラリー形式で歴史の薫る町並みや建造物、祭りを見学・体験する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまで、小学3～6年生を対象に行ってきたが、低学年児童も積極的に足を運び、高岡の魅力、よさを肌で感じてほしいと考え、今年度より小学1年～4年生を対象とした。また、ポイント箇所を6カ所増やした。これまでの歴史的建造物に加え、市内北西部や南部にもエリアを広げた。3つのコースに分けて認定を行う。  
 シルバーコース(15ポイント以上): 昨年度959人 → 今年度1,633人  
 ゴールドコース(25ポイント以上): 昨年度606人 → 今年度1,141人  
 日本遺産コース(日本遺産ポイント10ポイント以上): 昨年度665人 → 今年度1,297人であった。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



スタンプラリー配布用カード



スタンプラリー実施要領



スタンプラリーポイント箇所

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| <b>42 新たな芸術・文化創造推進事業</b>   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 事業期間   | 平成25年度～   |   |        |
| 支援事業名  | 市単独事業<br>地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業   |   |        |
| 計画に記載している内容  | 文化創造都市高岡の実現に向けた4つの戦略(知る、創る、つなげる、伝える)に基づく事業を実施することにより、高岡のさらなる魅力の形成・発信につなげる |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| ・「Art&Craft City高岡」を表現した事業の実施(クラフト市場街との連携)<br>・文化創造都市に関する情報発信(テレビ番組制作・ウェブサイトの運営)<br>・文化創造都市高岡市民会議の開催<br>※平成29年度は文化芸術創造活用プラットフォーム形成事業(富山県支援事業)を活用して実施 |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |   |   |        |

状況を示す写真や資料等



「Art&Craft City高岡」を表現した事業の実施(クラフト市場街との連携:工場見学の様子)



文化創造都市高岡市民会議等についての検討(アート&クラフトシティ高岡推進委員会の様子)

**TAKAOKA**  
まちも、ものづくりも、ライブ&ミュージックのまち | ニュース | 活動する人 | 活動したい人 | 工場・工房 | 高岡の町並み



文化創造都市に関する情報発信(ウェブサイト運営)



文化創造都市に関する情報発信(テレビ番組制作)

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

|    |        |        |
|----|--------|--------|
|    | 評価対象年度 | 平成29年度 |
| 項目 | 現在の状況  |        |

43 日本遺産魅力発信推進事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成27年度～

支援事業名 文化芸術振興費補助金(日本遺産魅力発信推進事業)

計画に記載している内容 本市の日本遺産のストーリー(加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心一)を通して歴史的な魅力に溢れた文化財群を総合的に整備・活用し、国内外に情報発信や普及啓発を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度・認定された日本遺産に関する個々の文化資産を一体的に捉え、全体をPRする事業を行った。  
 ・日本遺産のまち高岡売り込み事業(台湾人向け旅行商品造成、WEB広告、パンフレットの作成)  
 ・高岡の日本遺産をみんなで発信しよう事業(日本遺産のストーリーを伝えるマンガの作成)  
 ・高岡の日本遺産を見に行こう事業(構成文化財の看板整備)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



・日本遺産のまち高岡売り込み事業  
パンフレット10,000部作成 市内宿泊客等に配布



・高岡の日本遺産を見に行こう事業  
大型看板: 市内11か所に設置  
小型看板: 市内37か所に設置

・高岡の日本遺産をみんなで発信しよう事業  
まんが67,000部作成 市内全世帯へ配布

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度 29年度

項目 現在の状況

1 文化財の調査・研究の充実

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容 文化財に関する認識を一層深めるため、歴史学、考古学、美術史学、建築学、民俗学等、様々な観点からの調査研究を推進していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成29年度は、文化財の調査・研究として以下の事業を実施した。  
 ・前田家関連史跡調査事業  
 守山城跡詳細調査(遺構確認調査、地中レーダ探査、関連城郭調査)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

遺構確認調査



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

|  |   | 評価対象年度  | 平成29年度 |
|--|---|---|--------|
| 項目   |   | 現在の状況   |        |
| <b>2 文化財の適切な保存管理</b>   |   | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |
| 計画に記載している内容  | 文化財の指定を推進し、豊かな歴史文化の息づく地域づくりを目指していく。<br>各指定文化財について段階的に保存管理計画の策定を行っていく。 |   |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |   |   |        |
| <p>文化財の適切な保存・管理を目的に平成29年度は主に以下の事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・瑞龍寺山門ほか8棟保存修理事業<br/>大庫裏、鐘楼、山門の屋根工事を実施した。(P5参照)</li> <li>・勝興寺大広間及び式台ほか11棟保存修理事業<br/>本坊素屋根解体、宝蔵及び式台門の保存修理工事を完了した。(P7参照)</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業<br/>山町筋・金屋町の両伝建地区において、伝統的建造物の修理及び修景を実施した。(P12・13参照)</li> <li>・高岡御車山保存修理事業<br/>守山町山車の車輪(4輪)、通町人形胴体の修繕を実施した。(P16)</li> </ul> |   |   |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  |   |        |
| <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している<br><input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない   |   |   |        |
| 状況を示す写真や資料等  |   |   |        |
| 【勝興寺保存修理】宝蔵修理完了  |   | 【高岡御車山保存修理】車輪焼嵌め状況  |        |
|   |   |                     |        |

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

|                |  |   |        |
|----------------|--|---|--------|
|                |  | 評価対象年度  | 平成29年度 |
| 項目             |  | 現在の状況   |        |
| 3 郷土教育と人材育成の継続 |  | <input type="checkbox"/> 実施済<br><input checked="" type="checkbox"/> 実施中<br><input type="checkbox"/> 未着手 |        |

計画に記載している内容 伝統技術に関わる専門的な人材の育成を図っていく。  
 学校における総合学習の時間等を利用して、地域の歴史や自然環境、文化財、景観等について、幅広い視点から高岡を学ぶ機会をつくっていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の保存又は活用に係る郷土教育・人材育成として、以下の事業を実施した。

- ・高岡地域伝統技術継承事業  
 次世代型ものづくり人材育成事業、後継者確保育成事業、若者技術者育成事業(空き家・空工場を活用した工房づくり)
- ・菅笠保全対策事業(P17参照)  
 菅笠製作技術後継者の育成等
- ・次世代型ものづくり人材育成事業(P18参照)  
 高岡銅器、漆器についてのデザインの初歩知識と基礎技法の修得、実践的内容を中心とした技術力向上等
- ・伝統工芸産業希少技術継承事業(P19参照)  
 希少な技術を継承する人材の育成・確保と自立・定住を促すために、補助金を交付
- ・文化財等修理補助事業(P21参照)
- ・菅栽培調査事業(P22参照)  
 菅栽培試験田によるデータ収集調査、菅草講演会等
- ・ものづくり・デザイン科推進事業(P23参照)  
 青貝塗りのお皿、彫刻塗りのオルゴール、錫の小物等の制作授業を実施
- ・祭行事・イベント振興事業(P29参照)  
 二上射水神社築山神事、御印祭ほか
- ・金屋町楽市開催事業、獅子舞大競演会開催事業、土蔵造りのある山町筋イベント助成事業(P26～28参照)  
 イベント助成事業を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



菅笠製作技術後継者の育成



金屋町楽市

| 評価軸⑤<br>効果・影響等に関する報道   |           | 評価対象年度                   | 平成29年度 |
|--|-----------|--------------------------|--------|
| 報道等タイトル  | 年月日       | 掲載紙等                     |        |
| 高岡御車山にGPS  | H29.4.26  | 富山新聞                     |        |
| 町家にぎわいに期待 高岡「山町ヴァレー」オープン   | H29.4.28  | 北陸中日新聞                   |        |
| 山町筋若者あふれる「親しむ日」学校休みに   | H29.5.2   | 北日本新聞                    |        |
| 映画「デンサン」きょうから試写会   | H29.5.5   | 富山新聞                     |        |
| 宮大工の技 児童ら体感  | H29.5.15  | 富山新聞                     |        |
| 御車山に小中学生6716人  | H29.5.18  | 富山新聞                     |        |
| 山町筋に合わせ土蔵建築  | H29.5.23  | 北日本新聞                    |        |
| 御車山「守ってくださいね」  | H29.5.28  | 富山新聞                     |        |
| 町民文化どんな味   | H29.6.8   | 北日本新聞                    |        |
| 「弥栄節」町流し1000人  | H29.6.20  | 北日本新聞                    |        |
| 重伝建へ大きな一歩  | H29.7.10  | 富山新聞                     |        |
| 県外発信に「ユニホーム」   | H29.7.24  | 富山新聞                     |        |
| 金屋町に宿泊体験施設   | H29.7.28  | 富山新聞                     |        |
| 重伝建で昆布締めを  | H29.8.13  | 富山新聞                     |        |
| 高岡大仏10年ぶり修理  | H29.9.21  | 北日本新聞                    |        |
| ミニ瑞龍寺 お出迎え   | H29.11.18 | 北日本新聞                    |        |
| 伝統文化の魅力感じて   | H29.11.30 | 北日本新聞                    |        |
| 国の伝統的工芸品「越中福岡の菅笠」指定  | H29.12.1  | 北日本新聞                    |        |
| 定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で  |           |                          |        |
| <p>歴史的風致維持向上計画に係る各種報道等を通じて、市民自ら高岡の歴史を再認識し誇りと愛着を持っていこうとする機運が高まった。</p> <p>重伝建地区の山町筋には町家を商業施設に改修した「山町ヴァレー」がオープンした。同施設は町民文化の発信や市中心部の観光拠点として期待されている。また、「越中福岡の菅笠」が国の伝統的工芸品に指定されるなど高岡の歴史文化が広く発信された。</p>   |           |                          |        |
| 進捗状況 ※計画年次との対応   |           | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |        |
| <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり<br><input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし  |           |                          |        |
| 状況を示す写真や資料等  |           |                          |        |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>富山新聞 平成29年12月1日付</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>北日本新聞 平成29年4月28日付</p> </div> </div> |           |                          |        |

評価対象年度 平成29年度

項目

1 ストリート構想に基づく施策・事業の推進

計画に記載している内容 平成27年3月の北陸新幹線開業の機会を活かし、「歩いて楽しいまちづくり」をより一層推し進めるため、新高岡駅からJR高岡駅を經由し金屋町までの範囲、及び伏木地区を対象にした魅力的な「通り」を創出していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

たかおかストリート構想に基づき、エリア内の歩行者案内用矢羽根サインの整備を進めているところである。また、伏木地区についても、平成28年2月に策定した伏木地区ストリート構想に基づき、歩行者案内用拠点サインの整備を進めているところである。

平成29年度実績:3基(大拠点サイン1基、中拠点サイン1基、小拠点サイン1基) 伏木地区整備完了

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

拠点サイン整備事例



矢羽根サイン整備事例



|  |        |        |
|--|--------|--------|
|  | 評価対象年度 | 平成29年度 |
|--|--------|--------|

項目

**2 歴史まちづくり事業の住民活動等への広がり**

計画に記載している内容 文化財の保存・活用において、今後市民と行政の連携体制の整備や活動支援の充実を図っていく必要がある。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

歴史まちづくり計画に基づき、事業を進めてきたことにより、徐々に市民の歴史に対する認識も深まってきているほか、歴史まちづくりに関連する活動に広がりが出てきている。

- ・平成26年6月には、山町筋と金屋町の2つの伝建地区を結ぶ沿線における道路の修景整備を契機とし、観光客が散策を楽しめる地域づくりを目的とした川原本町周辺街づくり協議会が設立された。
- ・平成26年9月には、重要文化財勝興寺に通じる参道として風情漂う落ち着いたまにふさわしい景観づくりを進めることを目的とした、勝興寺寺内町通り景観協定が締結された。
- ・平成27年4月には、袋町と平米町の2町で旧町名が復活し、獅子舞が10年ぶりに復活するなど地域コミュニティの結束が強まった。
- ・平成28年4月には、西海老坂地区で、江戸時代から口伝で受け継がれてきた伝統を絶やさないよう、獅子舞保存会が立ち上げられ、22年ぶりに獅子舞が復活した。
- ・平成28年5月には、吉久まちづくり協議会で、将来的な重要伝統的建造物群保存地区の選定に向け、景観まちづくり表彰や様々なイベントを実施する「継承部会」のほか、教養講座や街歩きを行う「町育部会」などが立ち上げられ、活動が行われている。
- ・平成28年9月には、国宝瑞龍寺において「ものづくり」などの高岡の歴史や文化をベースに観光振興へ向けた人づくりを目的とした熱中寺子屋が開校し、様々な分野の人たちが集まり、刺激しあう場所ができ、以降、継続的に取り組みが続けられている。
- ・平成28年には、地元の映画制作会社や実行委員会により、金屋町が舞台で鑄物師を主人公にした映画「デンサン」の撮影が行われ、平成29年に試写会が行われた。
- ・平成29年4月には、歴史的資産を活用した町家再生事業において、伝統的建造物を商業施設として改修した「山町ヴァレー」がオープンした。管理運営は若手事業主らでつくる(株)町衆高岡が担っている。

|                |                          |
|----------------|--------------------------|
| 進捗状況 ※計画年次との対応 | 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) |
|----------------|--------------------------|

計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



山町ヴァレー外観



山町ヴァレー グランドオープン(11月)の様子



熱中寺子屋の授業風景

|  |        |
|--|--------|
| 評価対象年度   | 平成29年度 |
| ・法定協議会等におけるコメント  |        |
| コメントが出された会議等の名称: 第10回高岡市歴史まちづくり協議会   |        |
| 会議等の開催日時: 平成30年2月19日(月) 午後2時～  |        |
| (コメントの概要)  |        |
| <p>1 歴史まちづくり計画の変更について</p> <p>【高岡市歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伏木地区の多言語によるVTR制作については導入予定の言語（日本語、英語、中国語、台湾語）の他、伏木港には観光やビジネスで外国船が入港するので伏木高校の国際交流科と連携して韓国語やロシア語も検討してはどうか。</li> <li>・勝興寺を含む周辺については測候所(気象資料館)などの資源もあるので、エリアとしてもっと広がりを持って歩いて楽しいまちづくりの取り組みが必要ではないか。その際には地元住民と協働で進めることが重要である。</li> <li>・高岡御車山会館の多言語案内アプリの制作については他の施設でも利用できるなど高岡市全体に拡大させていく必要がある。また、地図のアプリと連動させることで観光の活性化に繋がると思うので工夫したほうが良い。例えば、金沢市には古地図と現在の地図を同時に表示され、建物の解説も表示されるアプリがある。</li> <li>【越中福岡の菅笠が国の伝統的工芸品に指定】</li> <li>・菅笠が国の伝統的工芸品に指定されたことはゴールではなくスタートである。菅笠のニーズが限定されているため、現在の量産型流通システムが適していないなど課題も多い。常に課題意識を持って取り組んでいく必要がある。</li> </ul> <p>2 進捗管理・評価シートについて</p> <p>【金屋鋳物師町工房(仮称)整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鋳物師町工房は次の時代の金屋町の拠点になる重要な施設であると思う。計画策定体制は別途あると思うが、本協議会においても設計内容も含め平面計画や外観のイメージ図などを示すことが必要ではないか。</li> <li>【県道・岡笹線道路整備事業について】</li> <li>・道路の整備とともに旧北陸道の古地図と歴史を記載した案内板を設置してはどうか。</li> </ul> |        |
| (今後の対応方針)  |        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介VTR制作における韓国語やロシア語の対応は今後の課題として検討したい。</li> <li>・多言語案内アプリ制作における地図アプリや古地図との連動は検討したい。</li> <li>・菅笠についてはニーズが限定されているため今後は民芸品だけではなく実用品としての商品価値を高めていく必要があると考えている。</li> <li>・金屋鋳物師町工房(仮称)の平面計画や外観のイメージ図などは今後、示したい。</li> <li>・県道・岡笹線道路整備事業で案内板の設置予定はないが高岡市新サイン計画に基づく歩行者案内サイン整備において設置を検討したい。</li> </ul>  |        |